

安全・安心・快適なカーライフを提供。

VOL.

11

with LIFE



欧州メーカーの 相次ぐEV戦略見直し

欧州の電動化偏重に変化の風

欧州の自動車メーカーが長年推し進めてきたEV(電気自動車)化ですが、近年、戦略の見直しを迫られる事態が相次いでいます。「将来的に完全なEVメーカーとなる方針に変わりはない」としているものの、その背景には充電インフラが予想以上に進まないことや、エネルギー価格の高騰、さらに価格競争を武器に急速にシェアを拡大している中国のEVメーカーによる市場競争の激化なども新たな課題となっています。

その結果、欧州メーカーは「すべての車種をEV化する」という方針を見直し、PHEV(プラグインハイブリッド車)やFCEV(燃料電池車)などの多様な選択肢を再検討する動きが広がっています。

このような市場の変動を受けて日本の自動車メーカーは電動化を進めつつも、PHEVなどのパワートレインのラインナップを維持。ハイブリッド技術を進化させてきた日本ならではの燃費効率の高いHEVやPHEVを市場に送り出し高い評価を得ています。

また日本メーカーは、アフターマーケット事業の強化や持続可能なビジネスモデルの構築にも注力しています。欧州のメーカーがEV偏重からHEVやPHEVなど、内燃機関を再評価する動きが広がって、次世代エンジンの効率化や低燃費技術に関する需要が増えれば日本の技術力が再び評価されるかもしれません。欧州メーカーがEV一辺倒な戦

略から様々なパワートレインにシフトすることで、ハイブリッド車向けのモーター、インバーター、バッテリーシステムなどの需要が増加し、日本の部品メーカーがその技術力や品質管理のノウハウを活用して欧州市場での協業やパートナーシップの強化などにもつながる可能性があります。欧州で内燃機関車の生産が続くと、既存のガソリン車やハイブリッド車のメンテナンス需要も維持され、アフターマーケットの需要も高まるでしょう。

欧州の自動車メーカーのEV戦略見直しは、日本企業にとってチャンスを生み出す追い風になるかもしれません。

This season's
pickup!

メンテナンスにも 「環境にやさしい車」づくりを考える

車の脱炭素、実態と動き

脱炭素やカーボンニュートラルへの取り組みが急務とされるなか、車にも環境への配慮が求められています。

車を製造する工程の中でもCO₂の排出量を抑える、さらにはリサイクル部品やリサイクル可能な素材などの「環境負荷を低減した素材」を使い、製品寿命の長い自動車部品を使用する動きもあります。

車のミライと課題

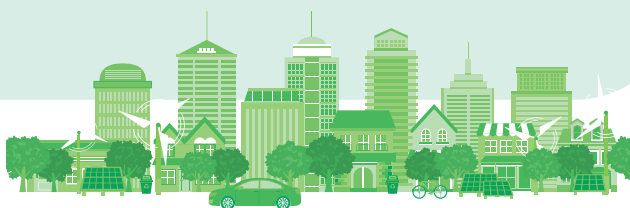
製造から使用、廃棄(廃車)までのライフサイクルにおいて、環境負荷をできる限り低減した「環境にやさしい車」づくりにドライバーの一人として今、私達に何が出来るのか。

次世代のドライバーのためにも、一緒に考えていきたいですね。

私たちにもできる!

環境にやさしいメンテナンス

- 1 定期的なオイル交換で排気ガスをクリーンに
- 2 エアフィルターの交換で燃費向上
- 3 タイヤの空気圧管理で省エネ運転をサポート
- 4 洗車も水資源の節約と環境にやさしい洗剤で



地球にもカラダにもやさしい環境商品を始めませんか?



環境にやさしい洗剤を選ぶことで、作業者の健康と地球環境の保護の両方を実現できます。

クリーンフロアクリーナー

洗浄剤 床洗浄剤 容量:18L



泡立ち性・濯ぎ性など、優れた煽情性を有する環境対応のクリーナーです。

生分解性クリーナー

洗浄剤 多機能洗浄剤 容量:バックインボックス 18L



ヤシの実の天然成分配合の多機能洗浄剤。排水中のノルマルヘキサン値を低減させます。

オイル吸着ネット

油分吸着材 サイズ(mm):410mm×180mm×高さ50mm



天然素材で腐敗臭の元となる油水分槽の油分だけを吸着して環境に配慮します。